

第3学年 外国語活動 / 外国語科学習指導案

令和6年11月29日 5校時
 北中城村立北中城中学校 3年4組 33名
 授業者 川田 奈々
 T2 マーカス フルモト

1 単元名

年間指導計画 p 20 (11-12月) 指導内容

教材名：Unit6 「The Chorus Contest」(光村図書 Here We Go! 3年)

CAN-DO リスト：[SP-2] ストーリーや日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な文やつなぎ言葉を使って、まとまりのある内容を話すことができる。

2 単元の目標

- (1) 現在分詞・過去分詞による後置修飾や間接疑問文の基本的な用法を理解することができる。
(知識及び技能)
- (2) 自分の学校生活について、写真にぴったりの説明やせりふを考えて、伝えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 自分の学校生活の説明や紹介を、相手を意識して伝えようと工夫している。
(学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、中学校学習指導要領の「聞くこと」と「話すこと [発表]」に関連する内容を取り扱い、最終的には「話すこと [発表]」の「イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」ことを目標とする。

言語材料は、現在分詞・過去分詞による後置修飾と間接疑問文を取り扱っている。題材は「合唱コンクール」で、学校行事や日常の出来事という生徒の共通の話題になっている事柄である。単元を通して、自分の説明したいことが話せるような授業を展開し、北中城中学校の学校生活について伝えられるような能力を身につけさせたい。

(2) 児童(生徒)観

昨年度末の沖縄県学力到達度調査の結果では、英語の平均正答率は46%と、県の平均49%と3%の差があることがわかった。また、2学期初めに行ったアンケート調査では、「英語が苦手である」と答えた生徒は6割であった。しかし、「英語は将来役に立つ」と回答した生徒は9割おり、「聞くこと」に次いで「話すこと」が好きであるという結果が出た。

本学級には、アメリジャンスクールに通っている生徒が在籍しており、1学期に本校にて交流会を行った。その際、生徒同士が英語でコミュニケーションを取る様子が見られ、やり取りの中で、次回はアメリジャンスクールの学校行事にも参加してほしい、という提案があった。そこで、次回交流会があった時に(場面)、アメリジャンスクールの同世代の生徒に、北中城中学校の学校生活について知ってもらうために、(目的)、写真を用いて説明する(状況)という目標を設定した。「話すこと」は好きなので、この「伝えたい」をきっかけに、英語の苦手意識を軽くするようにする。

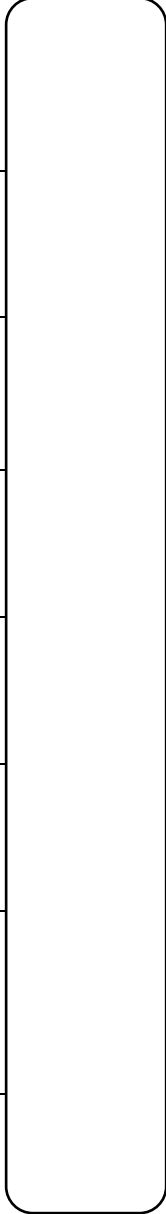
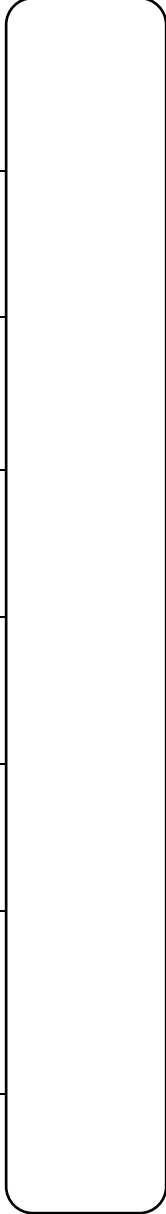
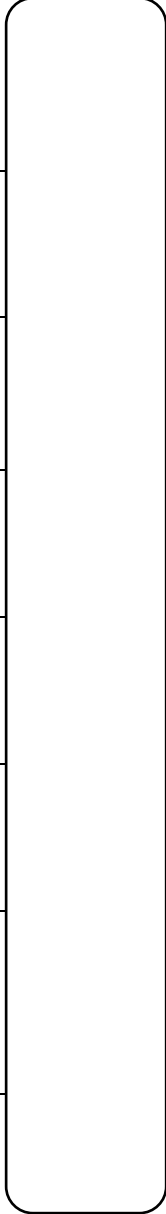
(3) 指導観

新文法は、実際に活用することで、コミュニケーションに活かすことができるようになるため、ペアでどんどん活動させ、即興で伝えられるようなスモールステップを積んでいく。具体的には、教科書の挿絵や、合唱コンクール時の実際の写真などを picture description で使用し、何かを描写・説明するとき、後置修飾が便利だということに気づかせ、活用させる。また、ペア活動後にネイティブ・スピーカーのモデル文を聞いたり、よりよい表現方法を全体で共有したり、タブレット端末で写真を見せながら発表したりするなど、生徒がスモールステップで単元の目標に近づくような工夫をする。その際、初めから正確さを求めず、伝える内容を重視しながら(accuracy < fluency)、生徒の実態に合わせてフィードバックするよう留意する。本校英語科で共通実践している5Keys(Smile, Clear Voice, Gesture, Reaction, Eye Contact)も継続的に活用を促し、相手意識を持ち発表する態度も育てていく。


4 単元の評価規準

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<p>〈知識〉 現在分詞・過去分詞による後置修飾や間接疑問文の構造を理解している。</p> <p>〈技能〉 学校生活について、写真にふさわしい描写やせりふなどを整理し、後置修飾などの簡単な語句や文を用いて相手に伝える技能を身につけている。</p>	<p>アメリカンスクールの生徒たちに、北中城中学校を紹介するために、学校生活について、写真にふさわしい描写やせりふなどを整理し、簡単な語句や文を用いて相手に伝えている。</p>	<p>アメリカンスクールの生徒たちに、北中城中学校を紹介するために、学校生活について、写真にふさわしい描写やせりふなどを整理し、簡単な語句や文を用いて相手に伝えようとしている。</p>

5 単元の指導計画と評価計画 (全 10 時間) *○記録に残す評価

時	ねらい・学習活動 目標 (■)・主な言語活動等 (丸数字)	評価規準			評価方法及び 支援が必要な児童生徒への手立て
		知技	思考表	態度	
1	扉：単元の導入 ■単元の大まかな流れを確認し、MY GOAL をたてよう。 紹介する写真のイメージ図を描く。 My Goal をたてる Performance 課題・ループリックの確認				<p>・毎時間の帯活動で picture description 「話すこと (発表)」の言語活動 (Small Talk) を行う。中間指導を行い、毎時間ステップアップできるようにする。</p> <p>・単元末に行うパフォーマンステストに向け、自分の説明したいことが話せるよう毎時間 small talk に取り組ませる。</p> <p>・毎時間の学習の振り返りは Project Journal に記入させる。</p>
2	Part1 本文 ■Part1 本文の内容を理解し概要を捉える。 ①Picture Description (帯) ②Part1 教科書本文理解				
3	Part1 言語活動 (現在分詞の後置修飾) ■誰かについて詳しく説明しよう。 ①Small-Talk (帯) ②後置修飾でインフォメーションギャップ				
4	Part2 本文 ■Part2 本文の内容を理解し概要を捉える。 ①Picture Description (帯) ②Part2 教科書本文理解				
5	Part2 言語活動 (過去分詞の後置修飾) ■おススメの物を詳しく説明しよう。 ①Small-Talk (帯) ②後置修飾で身近なものを紹介				
6	Part3 本文 ■Part3 本文の内容を理解し概要を捉える。 ①Picture Description (帯) ②Part3 教科書本文理解				
7	Part3 言語活動 (間接疑問文) ■誰かについて知っている情報をたずね合おう。 ①Small-Talk (帯) ②間接疑問文でインタビュー ③ゲットした情報を書く				
8	Goal ■「北中城の魅力」を自分の言葉で伝えよう。 ①Picture Description (帯) ②自分で作成した画像を説明する。				

記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に活かすことは毎時間行う。活動させているだけにならないよう留意する。

9	パフォーマンステストの質の向上 ■相手を意識して、「北中城の魅力」について、自分の気持ちを加えて伝えよう。 ①ループリックの確認 ②Small-Talk (帯) ③選んだ写真をペアに説明する。 ④マーカス先生に説明する。			
10	パフォーマンステスト 単元のまとめ	○	○	○
後日	ペーパーテスト	○	○	○

6 単元末または学期末におけるパフォーマンステストとループリック

(1) パフォーマンステスト

「アメラジアンスクールの生徒たちに、北中城中の魅力を、写真を通して紹介しよう。」

発表例)

- ① In Kitanakagusuku J.H.S, we have Friendship Festival.
- ② We play sports together, and welcome 1st graders.
- ③ Look at the boys.
- ④ The boy playing tug of war is Ken. The boy standing next to him is Makoto.
- ⑤ I like the festival because I can make new friends.
- ⑥ (What kind of sports event do you have?)

(2) ループリック

	「英語の」知識・技能	「内容の」思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	北中城中の魅力について、誤りのない正しい英文で話すことができた。	北中城中の魅力について、写真を示しながら自分の気持ちを添えて英語で紹介している。	北中城中の魅力について、写真を示しながら自分の気持ちを添えて英語で紹介しようとしている。
B	北中城中の魅力について、文法や発音等に多少の誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英語で話すことができる。	北中城中の魅力について、写真を示しながら英語で紹介している。	北中城中の魅力について、写真を示しながら英語で紹介しようとしている。
C	Bを満たしていない。	Bを満たしていない。	Bを満たしていない。
*5Keys(Smile, Clear Voice, Gesture, Reaction, Eye Contact)			

7 本時の学習【9/10時間】

(1) ねらい

相手を意識して、「北中城中の魅力」について、自分の気持ちを加えて伝えよう。

(2) 本時の評価規準

評価の観点	思考・判断・表現
評価規準	アメラジアンスクールの生徒たちに、北中城中の魅力を紹介するために、写真を用いて話している。
評価方法	授業内：観察 授業後：Project Journal

(3) 「めざす子どもの姿」の実現に向けた授業改善（発問など授業の工夫）

場面	工夫点	めざす子どもの姿
4. 選んだ写真をペアに説明する	活動後に中間指導を入れ、新しいペアに話す時に少しずつクオリティを上げられるようアイデアを共有する。	より伝わる工夫を試し、ブラッシュアップする。

(4) 展開 (第9時)

過程	学習活動・内容・発問等	予想される子どもの反応	指導上の留意点、評価等
導入 10分	Greetings 1. Warm-Up 2. Small-Talk 3. 動画の視聴(10秒) (アメリカンスクールの生徒1人が質問している動画)	Good afternoon. 学んだ表現を思い出しながら話す。 自分の考えを伝え合う。 動画を視聴する。(単元始めの授業で見ているので2回目の視聴。)	・英語を話しやすい雰囲気を作る。 ・自分の気持ちを伝えるために必要な表現(I think, I like)などを意識させる。 ・BIG GOAL を再度確認し、目的・場面・状況を意識させる。 ・動機付けのために動画を使用し、発表を聞いた相手がどんな反応をするか想像させる。
展開 25分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Today's Goal 相手を意識して、「北中の魅力」について、自分の気持ちを加えて伝えよう。</p> </div> <p>4. 選んだ写真をペアに説明する ①ペア活動⇒中間指導 ②新ペア活動⇒中間指導 ③新ペア活動</p> <p>〈中間指導で予想される例〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>In Kitanakagusuku J.H.S, we have an event called Sports Festival. Look at the boys. The boy passing a baton is Ken. The boy receiving it is Dai. I think this event is amazing because we can play sports together. What kind of sports event do you have?</p> </div>	ペアでやり取りする中で、新しい表現を取り入れ、自分の発表をブラッシュアップさせる。	・質を上げる時間にすることを共通確認する。 ・中間指導を入れ、「どんなことが言いたかったか」確認し、表現の幅を広げる。 ・言語面と内容面の両方において中間指導を行う。 ・良い例や疑問点を全体で共有し、表現方法を見つけさせる。
終末 15分	5. 代表数名がマークス先生に北中の魅力を伝える。 6. Project Journal	ペアでのやり取りを再現し発表する。その他の生徒は発表を聞く。 今日の授業での新たな気づきや発見を記入する。	・振り返り記入時に参考にできるよう、黒板には生徒から出てきた表現を残しておく。

(5) 板書計画 (予定)

Day

Friday

Date

November 29th

weather

sunny

BIG GOAL


アメリカンスクールの生徒たちに、北中城中の魅力を、写真を通して紹介しよう。

Today's GOAL


相手を意識して、「北中の魅力」について自分の気持ちを加えて伝えよう。

(生徒から出てきた表現を記入する)


Eye contact




Smile



gesture



reaction



clear voice

